







平成29年7月-9月期・東員町商工会 中小企業景況調査結果（製造業）

売上（加工高）のD I 値は、前年同期比で±0.0と横ばいであるが、前期比、来期見通しともに-25.0と減少傾向にある。採算（経常利益）のD I 値は、前年同期比が±0.0、来期見通しも同じく±0.0と横ばいとなっており、大きな変化はない。資金繰りのD I 値は、前年同期比、前期比ともに±0.0であり、さらに来期見通しも±0.0となっており、悪化することなく横ばいで推移していくことが見込まれる。業況のD I 値は、前年同期比で-25.0、前期比は-50.0と大幅に悪化しており厳しさが見られるが、来期見通しは±0.0と少し盛り返す見込みである。三重県商工会エリア全体のD I 値と比較すると、三重県全域では製造業の業績が回復したこともあり、売上と業況に関しては三重県全域の方が良くなっている。採算や資金繰りについては、東員町商工会エリアの方が安定しているように思われる。

東員町商工会エリア	今期（29年7-9月期）の状況				来期（29年10-12月期）の状況		
	項目	前年同期（28年7-9月期）と比較		前期（29年4-6月期）と比較		前年同期（28年7-9月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（加工高）	±0.0	横ばい曇り	-25.0	減少雨	-25.0	減少雨	
採算（経常利益）	±0.0	横ばい曇り	--	--	±0.0	横ばい曇り	
資金繰り	±0.0	横ばい曇り	±0.0	横ばい曇り	±0.0	横ばい曇り	
業況	-25.0	減少雨	-50.0	大幅に減少豪雨	±0.0	横ばい曇り	

三重県商工会エリア	今期（29年7-9月期）の状況				来期（29年10-12月期）の状況		
	項目	前年同期（28年7-9月期）と比較		前期（29年4-6月期）と比較		前年同期（28年7-9月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（加工高）	-3.0	大幅に減少豪雨	3.0	横ばい曇り	3.0	横ばい曇り	
採算（経常利益）	-15.1	やや悪化小雨	--	--	-6.1	やや悪化小雨	
資金繰り	-15.1	やや悪化小雨	±0.0	横ばい曇り	±0.0	横ばい曇り	
業況	-16.2	やや悪化小雨	-13.8	やや悪化小雨	6.7	やや好転晴れ	

各項目の評価については次により表示した。

D・I値※	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
天気図表示	快晴 	晴れ 	曇り 	小雨 	雨 	豪雨 

※D I 値は、増加・好転等の割合から減少・悪化等の割合を差し引いた値。

今期直面している経営上の課題については、重要度の高い1位には「製品ニーズの変化への対応」、「製品（加工）単価の低下、上昇難」、「需要の停滞」の3項目が上がっている。三重県商工会エリア全体と比べると順位に変動はあるが、課題として認識される項目は同じものでありズレはない。なお、上位3項目を集計した表が下にあるが、「生産設備の不足・老朽化」と「従業員の確保難」が50.0%で1番目にランクされており、個々においてはトップほどの重要度ではないが、総合的な視点では常に意識している課題として位置づけられているように思われる。

重要度1位の項目 (％)

東員町商工会エリア	1位		2位	
1位にあげる問題点	製品ニーズの変化への対応、製品（加工）単価の低下、上昇難、需要の停滞			
前期/今期	--		25.0	
三重県商工会エリア	1位		2位	
1位にあげる問題点	需要の停滞		製品ニーズの変化、製品（加工）単価の低下、上昇難	
前期/今期	21.9	28.1	15.6	12.5

重要度1位～3位の項目の集計

東員町商工会エリア	1位	2位	3位
1位～3位に上がった問題点	生産設備の不足・老朽化、従業員の確保難		製品ニーズの変化への対応、製品（加工）単価の低下、上昇難、需要の停滞等
前期/今期	--	50.0	-- 25.0